

友の会6月講演会のご案内

『シジュウカラガンの復活から考える 絶滅危惧種の保護』

山階鳥類研究所研究員 澤 祐介氏



講演概要：絶滅危惧種という言葉聞いたことはあるでしょうか？聞いたことはあるけども、あまりなじみのない言葉かもしれません。絶滅危惧種って本当に絶滅するのでしょうか？シジュウカラガンは、かつて日本国内にありふれた鳥だったようですが、とある人間活動の影響で一時絶滅状態に陥りました。現在は懸命な保全活動により、約1万羽にまで回復しました。では、なぜシジュウカラガンは絶滅したのか？ どうやって復活したのか？ 一度、絶滅寸前になった種を復活させることは並大抵のことではありません。シジュウカラガンの保全活動の事例を紹介し、身の回りの絶滅危惧種をどうやったら守れるか考えていきます。

講師概略：1983年生まれ、2002年京都大学理学部入学。2006年京都大学大学院修士課程で動物生態学を学ぶ。



卒業後は、民間企業で働く傍ら、“鳥類標識調査員”として、隅田川のユリカモメ調査を実施する。2014年に、バードライフ・インターナショナル東京に転職し、国際的な渡り鳥保護の枠組みである「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ(EAAFP)」に関連する保全プログラムに関わる。2016年には EAAFP のガン・カモ類作業部会で協力を呼びかけ、コクガンの渡りルート解明のための日米国際共同研究を立ち上げる。2020年より、山階鳥類研究所の研究員に着任。著書は「コクガンの謎を追う」雁の里親友の会、共著「鳥の渡り生態学」東京大学出版会など。他に多数の論文を発表している。

日時	：	2025年6月2日(月) 13:00～14:30(開場12:30)
会場	：	流山市生涯学習センター大会議室(C401)4階 (つくばエクスプレス線セントラルパーク駅徒歩3分)
参加費	：	会員500円 一般800円
定員	：	60名(事前申し込みの方優先)
締切日	：	5月26日迄、但し定員になり次第締め切らせていただきます。
お申込み	：	小島 隆(080-5676-4111) or 石川恵美子(080-2066-7128)まで。

主催： 流山市立博物館友の会